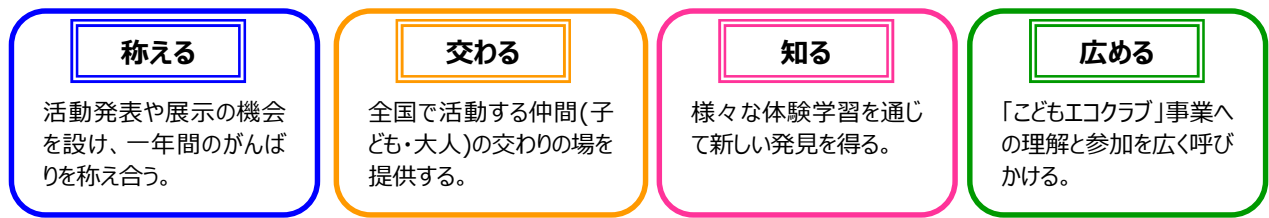


開催概要

- イベント名：「こどもエコクラブ全国フェスティバル 2020 ～集結★私たちの SDGs アクション！～」
- 実施目的：熱心に活動をしている全国各地のこどもエコクラブの子どもたちが集い、環境活動の紹介を通じて 相互の交流を深めるとともに、これらの情報を広く発信することにより、こどもエコクラブの活動の活性化及び本事業への理解と参加促進を図ります。



- 主催：公益財団法人日本環境協会（こどもエコクラブ全国事務局）
- 後援：環境省、文部科学省、厚生労働省、消費者庁、
独立行政法人国立青少年教育振興機構、公益社団法人こども環境学会、全国小中学校環境教育研究会、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、NHK
- 特別協力：こくみん共済 coop <全労済>、サントリーホールディングス株式会社、株式会社タカラトミー
- 出展予定企業・団体：
アース製薬株式会社、株式会社エフピコ、王子ホールディングス株式会社、こくみん共済 coop <全労済>、
佐川急便株式会社、清水建設株式会社東京木工場、宝酒造株式会社、株式会社タカラトミー、
DOWAエコシステム株式会社、トヨタ自動車株式会社、
一般社団法人日本印刷産業連合会グリーンプリンティング認定事務局、日本CCS調査株式会社、
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、文化シャッター株式会社、HOYA 株式会社 アイケアカンパニー、
株式会社ミールケア、リトルスタジオインク株式会社、Render 株式会社、
早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス aRc、エコマーク事務局
- 協力：井筒まい泉株式会社、MSC（海洋管理協議会）、All Japan Youth Eco-club、ケニス株式会社、
株式会社丸井スズキ、目白大学、リソー教育グループ、株式会社龍角散、
早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス

子どもたちの SDGs アクション

持続可能な開発目標（SDGs）とは、貧困や不平等・格差、気候変動などのさまざまな問題を根本的に解決することを目指して 2015 年に国連サミットで採択された世界共通の 17 の目標です。

こどもエコクラブのメンバーは興味関心に応じて様々な環境学習・環境活動を全国各地で実践しており、SDGs に関連づけられる活動も数多くあります。本冊子では壁新聞の作品のご紹介に合わせて、それぞれのクラブが意識している SDGs の項目も掲載いたしました。

子どもたちには、やはり自然や生き物への関心が一番高く、「**目標14.海の豊かさを守ろう**」「**目標15.陸の豊かさを守ろう**」にあてはまる活動が最も多い結果となっています。また、活動年数が短い（10 年未満）クラブは、ここ数年特に顕著な環境問題となっている地球温暖化にかかる「**目標 13. 気候変動に具体的な対策を**」を意識した活動が多く、活動年数が長い（10 年以上）クラブは、「**目標 17. パートナーシップで目標を達成しよう**」「**目標 11. 住み続けられるまちづくりを**」と、様々な主体と連携して地域に根付き、地域の環境課題の解決につながる活動に発展させていることがわかりました。

年齢の高い子ども（小学校高学年以上のメンバー）が多いクラブは、「**目標 1. 貧困をなくそう**」「**目標 3. すべての人に健康と福祉を**」「**目標 16. 平和と公正をすべての人に**」と、環境の枠を越えた社会的課題を意識する活動も見られ、成長に従って広い視野や課題解決のための思考力が身につけてきているものと思われます。

こどもエコクラブの元気な SDGs アクション、ぜひ作品の中でご覧いただくとともに、これからの活動に期待しましょう。